

2023年3月30日
 近鉄不動産株式会社

あべのハルカス美術館 展覧会 「あべのハルカス美術館開館10周年記念 円空一旅して、彫って、祈って―」 開催決定！

あべのハルカス美術館では、日本美術や西洋美術、現代アートなど多彩な展覧会を開催しています。

2023年度は4月22日（土）から6月18日（日）まで「幕末土佐の天才絵師 絵金」、7月1日（土）から9月3日（日）まで「超絶技巧、未来へ！ 明治工芸とそのDNA」、9月16日（土）から11月12日（日）まで「安野光雅展」、11月23日（木・祝）から2024年1月21日（日）まで「コシノジュンコ 原点から現点」を開催予定です。（既報のとおり。詳細は別紙参照）

上記の展覧会に続き、「あべのハルカス美術館開館10周年記念 円空一旅して、彫って、祈って―」の開催が新たに決定しましたのでお知らせいたします。

「あべのハルカス美術館開館10周年記念 円空一旅して、彫って、祈って―」

会 期：2024年2月2日（金）～4月7日（日）

共 催：NHK大阪放送局、NHKエンタープライズ近畿、朝日新聞社

開 催 趣 旨：修行の旅に人生を捧げ、人々のために祈りを込めて仏を彫った円空。生涯に12万体の神仏を造る誓願を立てたといわれ、飛神の剣のようにノミを振るい、神仏を彫り続けました。謎の多い一生ですが、その生きた証として、優しく微笑む観音像、迫力に満ちた護法神像など、今も5千体を超える神仏の像が伝わり、人々に愛されています。本展では初期から晩年までの代表作により、創造の足跡をたどります。



①狛犬 千光寺所蔵
 画像提供：東京国立博物館
 Image: TNM Image Archives



②両面宿儺坐像 千光寺所蔵
 画像提供：東京国立博物館
 Image: TNM Image Archives



③柿本人麿坐像 東山神明神社所蔵
 画像提供：東京国立博物館
 Image: TNM Image Archives

※上記①～③の画像データは貸出が可能です。ご希望の方はお問合せください。

また、事前に原稿の確認が必要になります。

（画像の使用は、本展覧会をご紹介いただく媒体に限ります。ご使用後は破棄をお願いします。）

※開催1ヶ月前を目処に詳細なプレスリリースを皆様のもとへお送りします。

あべのハルカス美術館 2023年4月～2024年4月 展覧会ラインアップ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2024年 1月	2月	3月	4月
展覧会名	恐ろしいほど美しい 幕末土佐の天才絵師 絵金			超絶技巧、未来へ！ 明治工芸とそのDNA		安野光雅展			コシノジュンコ 原点から現点		あべのハルカス美術館開館10周年記念 円空一旅して、彫って、祈って—		
会期	2023年4月22日(土) ～ 6月18日(日)			7月1日(土) ～ 9月3日(日)		9月16日(土) ～ 11月12日(日)			11月23日(木・祝) ～ 2024年1月21日(日)		2月2日(金) ～ 4月7日(日)		

【詳細】

恐ろしいほど美しい 幕末土佐の天才絵師 絵金

会 期：2023年4月22日(土)～6月18日(日)

共 催：読売新聞社、関西テレビ放送

開 催 趣 旨：謎の天才絵師とも呼ばれる土佐の絵師・金蔵は、幕末から明治初期にかけて数多くの芝居絵屏風などを残し、「絵金さん」の愛称で、地元高知で長年親しまれてきました。同時代のどの絵師とも異なる画風で描かれた屏風絵は、今も変わらず夏祭りの数日間、高知各所の神社等で飾られ、闇の中に蝋燭の灯りで浮かび上がるおどろおどろしい芝居の場面は、見るものに鮮烈な印象を残しています。

本展は、高知県外では約50年ぶりの大規模展です。幕末の土佐に生き、異彩を放つ屏風絵・絵馬提灯などを残した「絵金」の類稀なる個性と、その魅力について、代表作をはじめ約100点の作品により紹介します。



伊達競阿国戯場 累 (高知県指定文化財)
二曲一隻屏風・紙本彩色
香南市赤岡町本町二区
※後期展示(5/23～6/18)



花衣いろは縁起 鶯 (高知県指定文化財)
二曲一隻屏風・紙本彩色
香南市赤岡町本町二区
※後期展示(5/23～6/18)



浮世柄比翼稲妻 鈴ヶ森 (高知県指定文化財)
二曲一隻屏風・紙本彩色
香南市赤岡町本町一区
※前期展示(4/22～5/21)

超絶技巧、未来へ！ 明治工芸とそのDNA

会 期：2023年7月1日（土）～9月3日（日）

共 催：毎日新聞社、MBSテレビ

開催趣旨：2019年に当館で開催し、多くの観客を魅了した「驚異の超絶技巧！明治工芸から現代アートへ」。本展はそれをさらに発展させ、明治工芸のDNAを継承しつつ多様な素材と技法を駆使して、新たな領域に挑む現代作家の新作を中心に紹介します。進化し続ける作家たちが繰り出す驚きと感動の超絶技巧を、明治工芸の逸品とあわせて、今回もぜひご体感ください。



前原冬樹 《『一刻』スルメに茶碗》(部分)
2022年 木彫



本郷真也 《Visible01 境界》(部分)
2021年 金工

安野光雅展

会 期：2023年9月16日（土）～11月12日（日）

共 催：朝日新聞社、関西テレビ放送

開催趣旨：島根県津和野町に生まれた安野光雅（1926—2020）は、半世紀以上にわたり画家、絵本作家、装丁家として多彩な活躍を続けました。その独創的な作品は国内外の高い人気を得ています。本展では、絵本のデビュー作『ふしぎなえ』から、近年の大作『繪本 三國志』まで、やさしく、美しく、ユーモアと不思議にあふれた安野ワールドを紹介します。



《旅の絵本VI デンマーク編》
2004年 津和野町立安野光雅美術館蔵©空想工房

コシノジュンコ 原点から現点

会 期：2023年11月23日(木・祝)～2024年1月21日(日)

共 催：毎日新聞社、MBSテレビ

開催趣旨：大阪・岸和田に生まれたコシノジュンコは、1960年に新人デザイナーの登竜門とされる装苑賞を最年少の19歳で受賞、以後東京を拠点にファッションデザイナーとしての活動をスタートさせます。世界各地でショーを開催し高い評価を得る一方、近年では服飾デザインの領域を超えた新たな境地を切り開いています。本展は、常にモードの先端を走り新たな創造を繰り返すコシノジュンコの活動の全貌を紹介する過去最大規模の展覧会です。衣装やデザイン画、写真パネルなど約200点からその魅力に迫ります。



「コシノジュンコ 原点から現点」メインビジュアル



コシノジュンコ



SPIKE DRESS 2010年

【開館時間】

火～金：10:00 - 20:00
月土日祝：10:00 - 18:00
*入館は閉館30分前まで

【休館日】

一部の月曜日、年末年始
展示替え期間(不定期)
*展覧会により休館日は異なります。

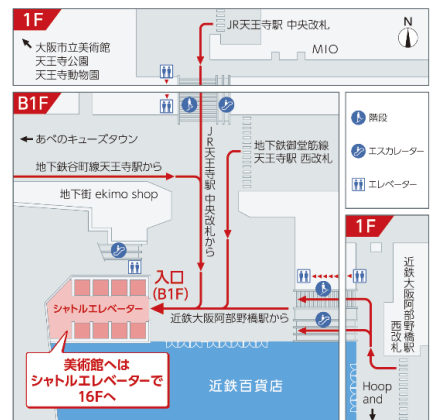
【所在地】

大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43 あべのハルカス16階

【最寄駅】

近鉄南大阪線「大阪阿部野橋」駅 直上
JR各線「天王寺」駅
Osaka Metro御堂筋線「天王寺」駅
Osaka Metro谷町線「天王寺」駅
阪堺上町線「天王寺駅前」駅 よりすぐ

【アクセス】



以上